

国立大学法人神戸大学が締結する契約の公表基準

平成21年2月16日制定

国立大学法人神戸大学（以下「神戸大学」という。）が締結する契約の公表基準については、以下のとおりとする。

（１）公表の対象とする契約

国立大学法人神戸大学会計規則（平成16年4月1日制定）第39条の規定により締結された契約のうち神戸大学の支出の原因となる契約であって、予定価格が500万円（工事については250万円）以上のものとする。なお、国の物品等又は特定役務の調達手続きの特例を定める政令（昭和55年政令第300号）第14条により官報で公示することとされているもの及び神戸大学の行為を秘密にする必要があるものは除く。（以下「公表対象契約」という。）

（２）公表の時期及び方法

神戸大学契約担当役は、公表対象契約につき、契約を締結した日の翌日から起算して72日以内にホームページに掲載する方法により公表を行うものとする。また公表は逐次行う方法のほか、一定期間において締結した公表対象契約を適宜とりまとめて公表する方法によることができる。この場合において、とりまとめて公表する全ての公表対象契約について、契約を締結した日の翌日から起算して72日以内に公表を行うものでなければならない。また、公表は少なくとも契約を締結した日の翌日から起算して一年が経過する日までホームページに掲載するものとする。

（３）公表の内容

神戸大学契約担当役は、上記（２）の公表において、公表対象契約に関し、次の各号に掲げる事項を記載するものとする。

- ①契約に係る物品等又は役務の名称及び数量
- ②契約担当部署名
- ③契約を締結した日
- ④契約の相手方及び住所
- ⑤契約の種別
- ⑥契約金額
- ⑦随意契約によることとした場合は、その理由（具体的な理由を簡潔に記載すること。）

公表は、神戸大学ホームページ「調達情報など 契約情報公開システム」によるものとする。ただし、工事関係契約に関する公表は、文部科学省ホームページ「文教施設工事情報 調達情報公開・収集システム」によるものとする。

附 則

この基準は、平成21年3月16日以降の契約案件に適用する。

国立大学法人神戸大学が締結する随意契約の公表基準

平成18年6月19日制定

平成21年2月16日改正

国立大学法人神戸大学（以下「神戸大学」という。）が締結する随意契約の公表基準については、以下のとおりとする。

（1）公表の対象とする随意契約

国立大学法人神戸大学会計規則（平成16年4月1日制定）第39条第3項又は第4項の規定により締結された随意契約のうち神戸大学の支出の原因となる契約であつて、予定価格が500万円以上のものとする。なお、国の物品等又は特定役務の調達手続きの特例を定める政令（昭和55年政令第300号）第14条により官報で公示することとされているもの及び神戸大学の行為を秘密にする必要があるものは除く。

（以下「公表対象随意契約」という。）

（2）公表の時期及び方法

神戸大学契約担当役は、公表対象随意契約につき、随意契約を締結した日の翌日から起算して72日以内に神戸大学のホームページに掲載する方法により公表を行うものとする。また公表は逐次行う方法のほか、一定期間において締結した公表対象随意契約を適宜とりまとめて公表する方法によることができる。この場合において、とりまとめて公表する全ての公表対象随意契約について、随意契約を締結した日の翌日から起算して72日以内に公表を行うものでなければならない。また、公表は少なくとも随意契約を締結した日の翌日から起算して一年が経過する日までホームページに掲載するものとする。

（3）公表の内容

神戸大学契約担当役は、上記（2）の公表において、公表対象随意契約に関し、次の各号に掲げる事項を記載するものとする。

- ①随意契約に係る物品等又は役務の名称及び数量
- ②契約担当部署名
- ③随意契約を締結した日
- ④随意契約の相手方及び住所
- ⑤随意契約に係る契約金額
- ⑥随意契約によることとした理由（具体的な理由を簡潔に記載すること。）

公表は、別紙様式1によるものとする。

附則

この基準は、平成18年9月1日から実施する。

附則

この基準は、平成18年9月1日～平成21年3月15日の間に契約が締結された案件に適用する。

別紙様式 1

物品等又は役務の名称及び数量	契約担当部署名	契約を締結した日	契約の相手方及び住所	契約金額	随意契約によることとした理由	備考

備考

- (1) 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
- (2) 必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることとその他の調整を加えることができる。